

越前市観光振興プラン

<令和5年度～令和9年度>
～観光による「幸せを実感できる ふるさと」を目指して～

【概要版】



観光をとりまく概況

◆世界の潮流は、観光を通じた地域の「持続可能性」への寄与

観光振興

受入地域の文化や価値観の尊重

雇用の安定、収入獲得の機会増

◆国内旅行者は減少、「旅行するならお金をかける」傾向

観光地競争の激化
(旅行するならお金をかけるだけの
価値あるところへ)

観光地としては
選ばれるだけの
強い価値を示すことが必要

越前市の観光における現状と課題

- ◆認知度は低く、日帰り客がメインで観光消費額は小さい
- ◆新幹線駅開業等のアクセス向上で誘客可能性が増大

交通網の整備

北陸新幹線の2024年春 金沢～敦賀間開業、
中部縦貫自動車道の2026年春に全線開通により、
首都圏や中央圏とのアクセスが大きく向上します。

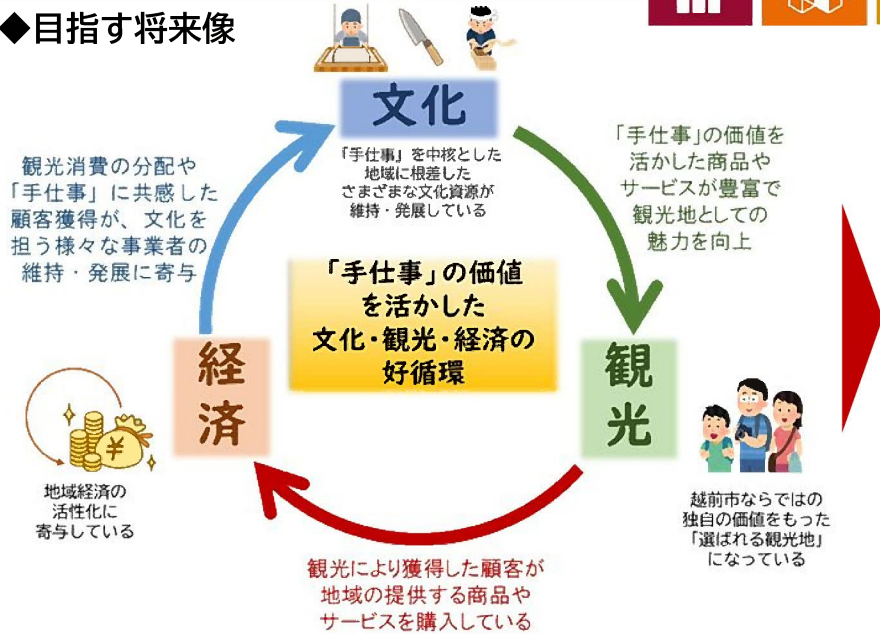


◆伝統産業をはじめ、地域特有の資源が豊富

産業	独自の価値ある「伝統産業」など (越前和紙・越前打刃物・越前筆筒)
歴史文化	紫式部、寺社(大塩八幡宮、大瀧神社などの国重要文化財) など
自然景観	コウノトリ、田園風景、豊かな水など
まちなみ	今立五箇エリア、武生エリア(寺町通り、タンス町通り、蔵の辻) など
食	越前おろしそば、中華そば・ボルゴライス、料亭文化など

越前市の観光が目指す方向性

◆目指す将来像

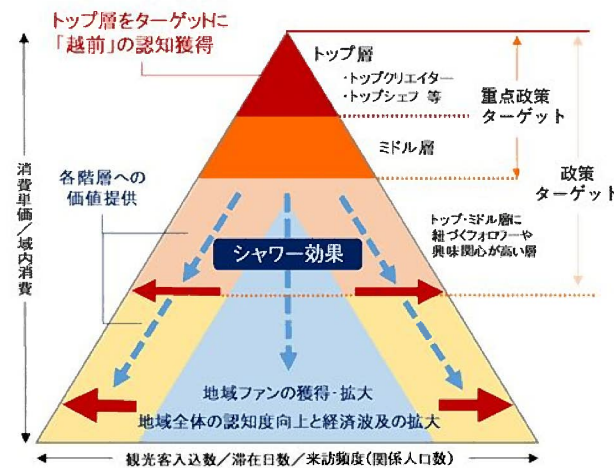


地域の魅力を向上させ、定住促進や地域への誇りを醸成(地域の持続可能性へ寄与)

「手仕事」の価値とは…伝統工芸の職人、食、菊栽培などの文化、歴史ある寺社仏閣など、本市に根付く資源を支える人やその想い、技、モノ、歴史をいう

◆将来像実現のための戦略

①価値に共感するターゲット層へ売込む



②「越前」をキーワードに認知度向上と誘客を

③高付加価値化を通じ消費拡大と経済効果へ

◆目標：本市の認知度向上から繋がる観光消費額の拡大

>認知から消費拡大までのフェーズ



>各フェーズごとの成果指標

	成果指標	基準値(R4)	最終目標(R9)
①認知	Webアンケートによる認知度	10%	20%
②検討と予約	OTA登録事業者数	9件	20件
③来訪	観光客入込数	3,086千人(R元年)	3,500千人
	宿泊者数	115千人	150千人
④満足とシェア	越前市関連ワードSNS投稿数	初年度実数値	前年比5%増/毎年
	⑤観光消費の拡大	1人あたり市内観光消費額	飲食:3,106円
		買い物:2,838円	買い物:4,000円
		宿泊:4,266円	宿泊:5,000円
		体験/入場料:2,271円	体験/入場料:2,500円

展開する施策

施策	1)「手仕事」を活かした認知度向上と消費拡大	2)地域資源を活かした観光の魅力向上	3)来訪客の受入環境整備	4)ウォーカブルなまちづくりの推進	5)広域視点での観光推進
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「手仕事」の価値の認知拡大に向けたプロモーション ・「手仕事」の商品・サービス販売の強化 ・インバウンド観光の推進 ・本格的な体験コンテンツの開発、磨き上げ 	<ul style="list-style-type: none"> ・紫式部、寺社、万葉など歴史文化資源の活用 ・三大グルメなど「食」の資源を活かした企画開発 ・たけふ菊人形等の大規模イベントによる誘客 ・フィルムコミッションの活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線駅周辺を中心とした情報案内の拡充 ・DXを通じた情報発信力の強化 ・観光二次交通の充実 ・宿泊施設の誘致・拡充 ・観光ガイド機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光サイン整備など、まち歩きインフラ整備 ・地域資源を活かした、まち歩きコンテンツの開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・「越前」をキーワードとした広域プロモーション ・丹南地域での広域連携 ・新幹線沿線都市と連携した誘客促進 ・ふるさと納税の活用

推進体制

市が計画を管理、観光協会、民間事業者、市民がそれぞれの役割を担いながら連携し、一体的に取り組むことが重要であることから、体制の強化を図る

行政	観光協会	民間事業者	市民
計画目標達成のため、観光施策の企画立案、評価、改善を行うとともに、国や県、観光協会や観光関連事業者との積極的な協議・調整を行い観光の振興を図る	行政との調整を図りながら、地域の観光情報の収集・発信・提供や観光誘客に向けたPR活動等の事業を主体的に展開するとともに、観光関連事業者等との連携を深め、協力体制を確立する	観光客のニーズに合った魅力ある商品づくりや地域資源を活かした旅行商品の開発と質の高いサービスを提供するとともに、行政・観光協会の観光振興事業への積極的な関わりや事業者同士の連携・協力により、おもてなし力を向上し来訪客の満足度向上を図る	一人ひとりが自分たちの地域に誇りと自信(シビックプライド)を持って来訪者を迎え、主体的に本市の魅力を伝えていく、おもてなしの心を養っていく